



◇金融リテラシーとは？

「金融リテラシー」とは、金融に関する知識や情報を正しく理解し、自らが主体的に判断するとのできる能力であり、社会人として経済的に自立し、より良い暮らしを送っていく上で欠かせない大事な生活スキルです。

そこで金融広報中央委員会では金融リテラシークイズを作成し、全国で実施しました。

ここで、金融広報中央委員会とは、どんなところかを説明したいと思います。

金融広報中央委員会は都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、中立・公正な立場から、暮らしに身近な金融に関する幅広い広報活動を行っている所です。

そこで実施されたクイズはわずか5問です。

私達ファイナンシャルプランナーとしてはそれほど難しい問題ではありませんでしたが、特に若年層の正解率が半分以下と残念な結果となりました。

また、山形県は全国でも後ろから3番目という不名誉な結果となりました。

そこで私たちの使命として、若年層を中心とした金融リテラシーの底上げをしなければならないと強く感じた次第です。

人口減、少子高齢化、就業人口比率の減少を考えれば、セカンドライフ時の資金計画を早い段階で構築する事が必要となります。

さらに、歴史上まれに見る低金利時代において、正しい投資教育の普及は喫緊の課題となっています。

金融庁においても「国民の安定的な資産形成を実現する資金の流れへの転換」の課題として
□金融資産の過半が現預金であり資産運用のリターンが低い

□投資リテラシー・成功体験が不足している
それに対する具体的施策として

■少額からの長期・積立・分散投資促進

■投資初心者を対象とした実践的な投資教育の必要性

また、顧客不在と思われるような金融商品販売が一部なされている課題に対し

■顧客本位の業務運営を行うべきとの原則

(フィデューシャリー・デューイティ)の確立・定着を提唱

日本における運用の中心は現預金や定期預金などであり、低金利化のもとでは増やす目的からは外れてしまいます。

そこで、他の先進国のように株式や投資信託を利用した運用を行わなければ、資産を大きく増やすことが出来ないことを、表やグラフにて明示しています。

私たちファイナンシャルプランナーとしても、セミナーや普段の事業活動を通じて金融リテラシーの普及と底上げに貢献していきたいと強く思っているところです。

◇LIFE SHIFT ライフシフトを読んで

リンダ・グラットンとアンドリュー・スコットが書いたライフシフト（100年時代の人生戦略）は、長い人生の後半生をどのように生きていくかを考えさせられる本でした。

また、日本語版での序文が印象的でした。

はじめに「幸せな国、日本」という題名に興味を引かれました。

世界保健機構の統計によると、他のどの国よりも平均寿命が長いことが挙げられています。

100歳以上の人（英語でセンテナリアンと呼びます）は既に61,000人以上。

国連の推計によれば、2050年までに、日本の100歳以上の人口が100万人を突破する見込だそうです。

2007年に日本で生まれた子どもの半分は、107年以上生きることが予想されています。

そして、この本では、日本において長寿化は負の側面が強調されがちで、長寿化を恩恵としてとらえることなく厄災と見なす論調が目立っていると指摘しています。

また、長寿化は社会に一大改革をもたらし、あらゆる事が影響を受けるとのこと。

過去のモデルは役に立たなくなり、政府はもちろんのこと、個人も変化が求められ、今までの固定観念や画一的な生き方が妨げになることもあります。

人生が長くなれば、仕事の引退年齢も70歳から80歳になることも考えられ、様々なステージを経験することになります。

働き方においても、従来の日本モデルは男性が働き、パートナーは主婦業に専念するというものが一般的でした。

長寿化社会においては、パートナーが職を持つメリットは計り知れません。

二人が同時に働く形態、互いのキャリアを支えるために交互に職に就く形態など、いずれにせよ、このように経済的責任を分かち合えば、長い人生に必要な資金を確保する上でリスクを大きく減らせます。

ただし、日本の男女平等度が調査対象145ヶ国の内101位にとどまっているので、格差解消が喫緊の課題となっています。

「世界で一番長寿化が進んでいる日本は、他の国々のお手本となれるし、世界の先頭となつてほしいと思う」で序文は終わりました。

本文の中で、100年プランを考えると、65歳の定年では残りの35年を超す引退期間を活動的に過ごしていく場合、経済的に支えることは困難といつてます。

かといって、不活発な生活を長期間続けていけば、認知能力が減退したり、人生に対する満足度が低くなることが解明されています。

パートナーシップとの関係では、世帯の出費の面で「規模の経済」の効果が働きます。

二人世帯は単身世帯よりも経済効率が良いといわれています。

OECDの計算によれば、同等の生活水準を目指す場合、大人二人の世帯に必要な所得は大人一人の世帯の1.5倍にとどまるそうです。

したがって、大人二人の世帯で二人とも職を持つていれば一人暮らしの場合よりそれぞれの所得が25%少なくとも、同等の生活水準を維持できる計算になります。

もちろん健康の問題により働くことができなくなる場合も想定し、こつこつ積立投資をしていくことも必要となります。

◇夏の夜空に思いを寄せて

今回はいるか座のお話をします。

いるか座は、夏の大三角形の一つ、わし座のアルタイルの北東に見られる小さな星座です。

四等星と五等星からなる地味な星座ですが、形がまとまっており、そしてイルカの形をイメージしやすいので、覚えやすい星座の一つです。

いるか座は紀元前1200年頃につくられていたといわれています。

いるか座の神話では、オルフェウスと並び称された豎琴の名手アリオンの物語に関係します。

アリオンはシチリアの音楽祭で優勝しコリントスに戻るために船に乘ります。

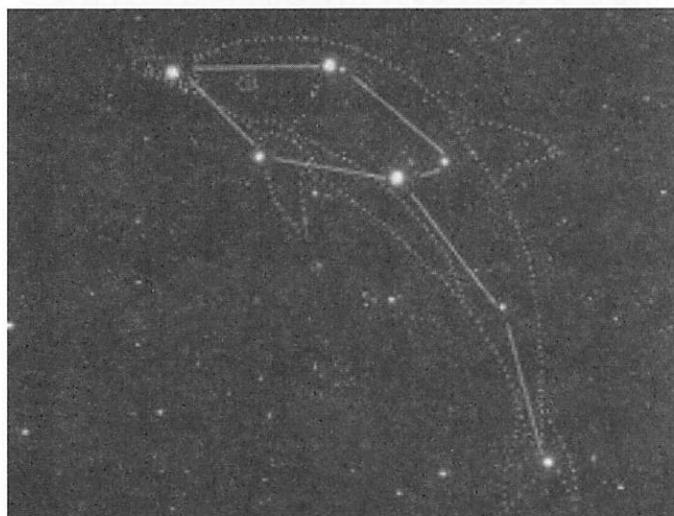
ところがその船乗りたちはアリオンを脅して金を取ろうとしたのです。

アリオンは潔く海に身を投じる決意をしましたが、最後の望みとして一曲だけ豎琴を弾きたいと申し出ます。

アリオンは心を込め、見事な曲を演奏したところ、たくさんのイルカたちが集まってきたました。

やがて曲も終わり、アリオンは潔く海に身を投じました。

集まつたイルカたちはアリオンを救い上げ、背中に乗せて泳ぎ、コリントス港まで運び、無事戻ることができたと伝えられています。



◇夏の安全運転ポイント

きびしい暑さに加えて、夏休みの行楽やお盆の帰省ラッシュなど、交通事情が悪くなる季節です。

普段にもまして、安全への心がけが必要です。

車の中はとても高温になるので、もちろんエアコンを使用しますが、車内と車外の温度差が大きくなるために、車に乗ったり降りたりを繰り返す事により、疲労が重なり、蓄積されます。

特に疲労困憊状態での運転は、集中力がなくなり、事故に結びつきやすくなります。

温度差による疲れが重ならない運転法を皆さんにお伝えしたいと思います。

まずは、正しい運転姿勢を保って運転しましょう。

シートの前後位置、背もたれ、ヘッドレストなどをご自身の体格に合わせます。

「窮屈だ」と言われる方がいますが、必要以上にシートや背もたれを後ろにすると、疲れが生じやすくなるだけではなく、運転姿勢が悪ければ、飛び出しがあったときに的確な対応ができなくなる恐れがあります。

急発進や急加速、強引な右折や車線変更、スピードの出し過ぎなどの運転を行うと、必要以上に周囲をよく見なければならないし、神経も余計使い疲れが重なりやすくなります。

それとは反対に、前方の道路や車の状況を見極め把握していれば、早めにアクセルを離して余裕の対応が可能となり、疲れにくくなります。

また、夏場に欠かせないのは、熱中症予防のための温度調整はもちろん、水分補給が大事です。

熱中症になれば、めまいや立ちくらみ、意識障害になることもあります、大変危険です。

暑い夏は、充分に水分補給し体調管理を行い、早めの出発と余裕の運転を心がけることにより、安全運転につながり、結果的に疲れにくくなります。

◇金融リテラシー向上のためにⅢ

「天童まちなか大学」で3講座を行いました。
天童商工会議所と天童市が主催となり、今回で
10回目となります。

講座内容は

◆永森忠大 教授 (FP)

「ガン治療最前線を知ろう！」

最新のガン治療の紹介や、治療の傾向などを説明しました。



◆大木隼人 教授 (FP)

「若い世代のための保険セミナー」

複雑かつ難しいといわれる保険を、シンプルに考えられるように丁寧に説明しました。



◆後藤陽子 教授 (FP)

「知って得する自動車保険の話」

普及率が最も高い自動車保険でありながらも、意外とその詳細な説明をお聞きにならない方が多く、必要性から各種特約の効果効用まで説明しました。



■次回の天童まちなか大学の開講予定

10月7日(土)～11月12日(日)となっていますので、新しいコンテンツも含め参加していきたいと思っているところです。

◇金融リテラシークイズに挑戦

金融広報中央委員会監修の「金融リテラシークイズ」に挑戦して下さい。

回答は選択方式なので、短時間で終わります。

裏面に回答と解説を記入しています。

ちなみに、全国の平均値は52.2点で、山形県は47.8点で、なんと全国最下位から3番目となる不名誉な結果となりました。

年齢層別では、若年層の平均点が全国的に低いので、義務教育から大学までの間、金融教育がほとんど行われなかったといえます。

◇夏休み休業のご案内

夏休みの休業は以下のようになります。

平成 29年 8月11日(金:祝)～

平成 29年 8月15日(火)まで

損害保険各社の「事故」発生時の連絡先

あいおいニッセイ同和	0120-024-024
三井住海上火災	0120-258-365
損保ジャパン日本興亜	0120-256-110
セコム損害保険	0120-210-545

(携帯でも使用可、365日24時間対応)

恐れ入りますが、当社では休業中、留守番電話対応となり、8月16日(水)以降に各担当者から連絡、または訪問をさせていただきます。

発行者 有限会社 FPコンパス

武田 幸夫 永森 忠大

多田 恵子 土赤 妙

〒994-0063 山形県天童市東長岡2-1-34



0800-800-1567 TEL 023-658-3512 FAX 023-658-3513

大木 隼人 後藤 陽子

佐藤 礼子 武田 浩幸

URL <http://www.fpcompass.co.jp>

E-mail mail@fpcompass.co.jp